

2003年3月期 中間決算説明会

2002年12月5日(木)

CKD株式会社 取締役社長 神田草平

説明会のスケジュール

決算の概要説明 60分

- 1、2003年3月期 中間決算の概要
- 2、収益構造の変革
- 3、セミコン ジャパン2002のご案内

質疑応答 30分

合計 1時間30分

1、決算の概要

平成 15年 3月期

中間決算短信(連結)

平成 14年 11月 20日

1. 14年 9月中間期の連結業績(平成 14年 4月 1日 ~ 平成 14年 9月 30日)

(1) 連結経営成績

(単位:百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
14年 9月中間期	28,311	12.7	759	49.2	657	54.7
13年 9月中間期	32,413	26.9	1,495	58.7	1,453	56.0
14年 3月期	59,132		1,316		1,253	
前年同期比	4,102百万円		736百万円		796百万円	

	中間(当期)純利益		1株当たり中間 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当 たり中間(当期)純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
14年 9月中間期	2,356	291.6	37.16	33.99
13年 9月中間期	601	67.9	9.33	8.69
14年 3月期	1,283		19.96	18.55
前年同期比	+ 1,755百万円		+ 27円.83銭	+ 25円.30銭

2. 15年 3月期の連結業績予想(平成 14年 4月 1日 ~ 平成 15年 3月 31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	58,000	2,000	3,300
前期比	1,132百万円 1.9%	+ 747百万円 + 59.6%	+ 2,017百万円 + 157.2%

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 52円 03銭

1、決算の概要

(2)連結財政状態

	総資産 百万円	株主資本 百万円	株主資本比率 %	1株当たり株主資本 円 銭
14年 9月中間期	64,533	24,711	38.3	391.22
13年 9月中間期	75,429	22,845	30.3	354.23
14年 3月期	65,383	22,921	35.1	360.77

(注)期末発行済株式数(連結) 14年 9月中間期 63,166,207 株 13年 9月中間期 64,494,697 株 14年 3月期 63,534,493 株

前年同期比 10,896 + 1,866 + 36円.99銭
14.4% + 8.2% + 8.0% + 10.4%

前期比 850 + 1,790 + 30円.45銭
1.3% + 7.8% + 3.2% + 8.4%

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー 百万円	投資活動による キャッシュ・フロー 百万円	財務活動による キャッシュ・フロー 百万円	現金及び現金同等物 期末残高 百万円
14年 9月中間期	5,479	350	3,739	5,874
13年 9月中間期	2,235	3,031	333	9,363
14年 3月期	4,455	2,395	6,840	4,563

前年同期比 + 3,244 3,381 3,406 3,489
+ 145.1% - - 37.3%

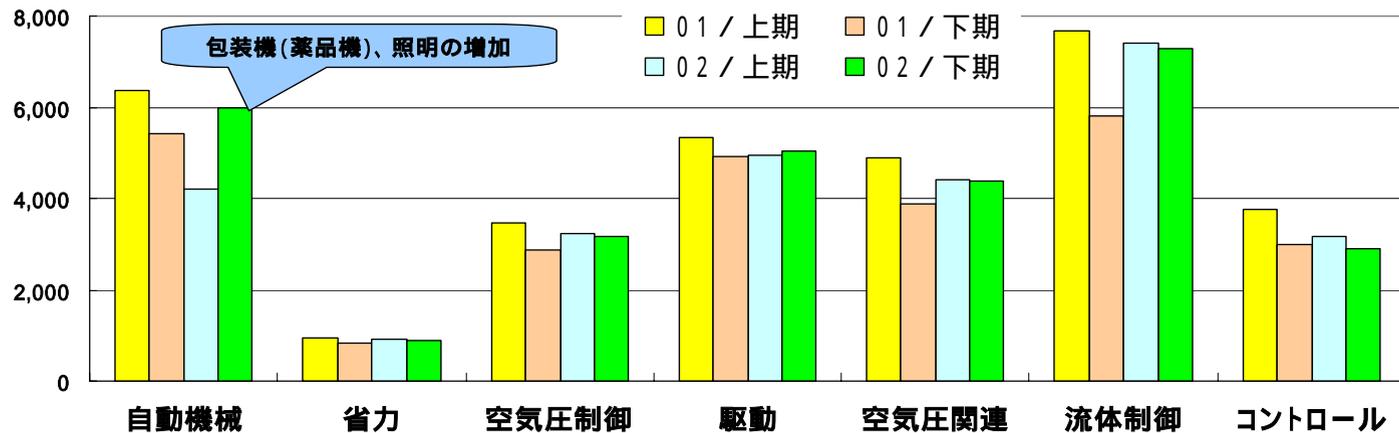
前期比 + 1,024 2,745 + 3,101 + 1,311
+ 123.0% - - 28.7%

1、決算の概要

機種別 売上高推移

(単位:百万円)

機種	期別	前上期実績	前下期実績	当上期実績	前下期対比増減金額	当下期予想	当上期対比増減金額
自動機械装置		6,363	5,425	4,215	1,210	5,985	+ 1,770
省力機器		941	825	913	+ 88	887	26
空気圧制御機器		3,459	2,878	3,224	+ 346	3,176	48
駆動機器		5,337	4,915	4,958	+ 43	5,042	+ 84
空気圧関連機器		4,885	3,878	4,414	+ 536	4,386	28
流体制御機器		7,662	5,793	7,405	+ 1,612	7,295	110
機器製品計		22,284	18,289	20,914	+ 2,625	20,786	128
コントロール機器		3,766	3,002	3,182	+ 180	2,918	264
合計		32,413	26,716	28,311	+ 1,595	29,689	+ 1,378



1、決算の概要

連結損益結合計算書の推移(半期比較)

(単位:百万円)

期別 科目	01年度 上期実績		01年度 下期実績		02年度 上期実績		前下期対比		02年度 下期予想		前上期対比	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	増減金額	比率	金額	百分比	増減金額	比率
売上高	32,413	100.0	26,719	100.0	28,311	100.0	+ 1,592	106.0	29,689	100.0	+ 1,378	104.9
売上原価	23,926	73.8	20,276	75.9	20,918	73.9	+ 642	103.2	21,632	72.9	+ 714	103.4
売上総利益	8,486	26.2	6,444	24.1	7,393	26.1	+ 949	114.7	8,057	27.1	+ 664	109.0
販売費及び一般管理費	6,991	21.6	6,623	24.8	6,633	23.4	+ 10	100.2	6,617	22.3	16	99.8
営業利益	1,495	4.6	179	0.7	759	2.7	+ 938	-	1,441	4.9	+ 682	189.9
営業外収益	263	0.8	270	1.0	188	0.7	82	69.6	112	0.4	76	59.6
営業外損失	306	0.9	290	1.1	290	1.0	0	100.0	210	0.7	80	72.4
経常利益	1,453	4.5	200	0.7	657	2.3	+ 857	-	1,343	4.5	+ 686	204.4

当期実績の経常利益減少の要因

売上高の増減による利益変化
 売上原価率の増減による利益変化
 販管費の増減による利益変化
 営業外損益の増減による利益変化

計

前下期対比

+ 384
 + 565
 10
 82
 + 857

前下期対比

+ 360
 + 305
 + 16
 + 5
 + 686

1、決算の概要

連結会社の固定費、変動費率推移

(単位:百万円)

	01 / 上	01 / 下	02 / 上	前下期対比	02 / 下	当上期対比
1、固定費						
人件費	10,487	9,680	10,029	+ 349	9,950	79
経費	6,613	6,001	5,729	272	6,000	+ 272
計	17,101	15,680	15,757	+ 77	15,950	+ 193
2、材料費率	42.2%	40.9%	41.2%	+ 0.3%	40.0%	1.2%

人件費

- ・ 役員報酬、管理職、従業員給与、役職手当の**カット解除** ・ 上期**昇給凍結解除**
- ・ 厚生年金基金**代行返上** ・ 賞与追加 ・ 時間外管理 ・ 自然減(退職者) 等々

経費

- ・ 派遣社員管理(**下期増加**) ・ 売上高増加による諸経費増加 等々

1、決算の概要

中間連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	期 別	前中間期 (13.4.1 ~ 13.9.30)	当中間期 (14.4.1 ~ 14.9.30)	前 期 (13.4.1 ~ 14.3.31)
		金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前中間(当期)純利益		1,332	2,945	1,022
減価償却費		1,388	1,141	2,809
貸倒引当金の増減額(減少:)		121	94	178
退職給付引当金の増減額(減少:)		504	2,137	959
受取利息及び受取配当金		32	28	45
支払利息		218	152	424
投資有価証券評価損		22	-	76
有価証券売却損		0	-	-
固定資産処分損		57	59	123
固定資産売却益		132	1	139
売上債権の増減額(増加:)		7,121	391	11,117
たな卸資産の増減額(増加:)		371	164	1,605
仕入債務の増減額(減少:)		5,390	2,673	8,053
未払消費税等の増減額(減少:)		130	20	143
その他		389	473	1,333
小計		3,810	5,720	6,325
利息及び配当金の受取額		28	28	41
利息の支払額		215	148	443
法人税等の支払額		1,387	121	1,467
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,235	5,479	4,455

1、決算の概要

科 目	期 別	前中間期 (13.4.1 ~ 13.9.30)	当中間期 (14.4.1 ~ 14.9.30)	前 期 (13.4.1 ~ 14.3.31)
		金 額	金 額	金 額
投資活動によるキャッシュ・フロー				
投資有価証券の取得による支出		149	41	191
投資有価証券の売却による収入		39	4	59
関係会社株式の売却 (前々期連結会計年度)による収入		5,624	-	5,624
有形固定資産の取得による支出		2,698	435	3,522
有形固定資産の売却による収入		212	122	424
その他		3	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー		3,031	350	2,395
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金純増減額(減少:)		242	453	3,556
長期借入れによる収入		-	300	14
長期借入金の返済による支出		249	2,728	2,274
転換社債の買入消却による支出		-	386	-
自己株式(単元未満株式等)の純増減額(増加:)		-	2	1
自己株式の取得による支出		0	136	357
親会社による配当金の支払額		290	285	580
少数株主への配当金の支払額		36	47	83
財務活動によるキャッシュ・フロー		333	3,739	6,840
現金及び現金同等物に係る換算差額		17	77	139
現金及び現金同等物の増減額(減少:)		4,950	1,311	150
現金及び現金同等物の期首残高		4,412	4,563	4,412
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		9,363	5,874	4,563

1、決算の概要

事業の種類別セグメント情報

前中間期(平成13年4月1日 ~ 平成13年9月30日)

(単位:百万円)

	自動機械 部 門	機器部門	コントロールズ 部 門	計	消去又は全社	連 結
. 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,362	22,284	3,766	32,413	-	32,413
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	25	94	0	120	(120)	-
売上高 計	6,388	22,379	3,766	32,534	(120)	32,413
営業費用	5,161	21,128	3,481	29,771	1,146	30,917
営業利益	1,226	1,250	285	2,763	(1,267)	1,495

当中間期(平成14年4月1日 ~ 平成14年9月30日)

(単位:百万円)

	自動機械 部 門	機器部門	コントロールズ 部 門	計	消去又は全社	連 結
. 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,215	20,914	3,181	28,311	-	28,311
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	147	17	197	(197)	-
売上高 計	4,247	21,062	3,199	28,509	(197)	28,311
営業費用	3,856	19,622	3,022	26,500	1,051	27,551
営業利益	390	1,440	177	2,008	(1,249)	759

前年同期比	売上高	66.5%	94.1%	84.9%	87.6%
	営業利益	31.8%	115.2%	62.1%	72.7%

1、決算の概要

所在地別セグメント情報

前中間期(平成13年4月1日～平成13年9月30日)

(単位:百万円)

	日 本	北 米	その他の地域	計	消去又は全社	連 結
・売上高及び営業損益 売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	30,560	194	1,658	32,413	-	32,413
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	850	-	450	1,301	(1,301)	-
売上高 計	31,411	194	2,109	33,714	(1,301)	32,413
営 業 費 用	28,806	194	1,856	30,857	59	30,917
営 業 利 益	2,604	0	252	2,856	(1,361)	1,495

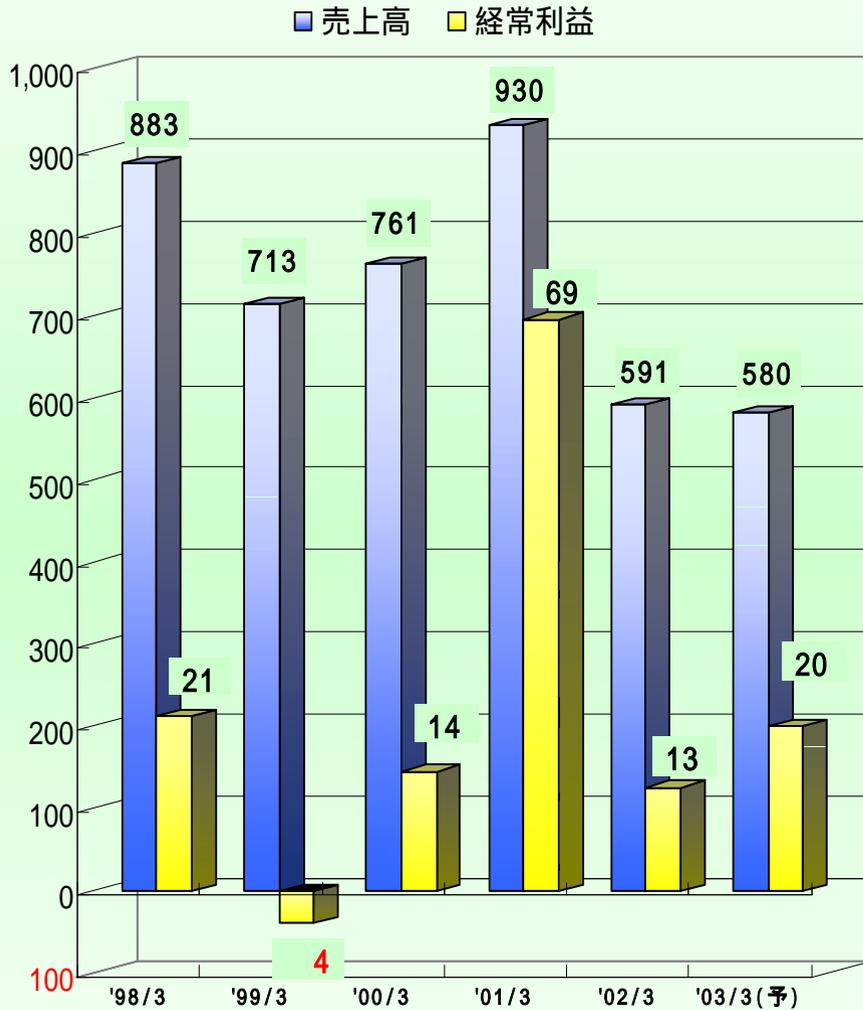
当中間期(平成14年4月1日～平成14年9月30日)

(単位:百万円)

	日 本	北 米	その他の地域	計	消去又は全社	連 結
・売上高及び営業損益 売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	26,262	350	1,697	28,311	-	28,311
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,028	-	428	1,457	(1,457)	-
売上高 計	27,291	350	2,126	29,768	(1,457)	28,311
営 業 費 用	25,218	392	1,982	27,593	(41)	27,551
営 業 利 益	2,072	41	143	2,174	(1,415)	759

前年同期比	売 上 高	86.9%	180.4%	100.8%	88.3%
	営 業 利 益	79.6%	-	56.7%	76.1%

2、収益構造の変革



(3) 2001年度

組織改革

- ・生産本部の発足

生産改革

- ・海外生産拠点の活用
- ・内製化の推進

資材調達改革

(目標：3年以内で20%の購入費削減)

- ・購買CD
- ・海外調達
- ・集中購買
- ・外注再編成

商品開発の強化

(4) 2002年度

「コストダウンと新市場開拓による
収益構造の強化」

生産改革

- ・海外生産拠点の活用
- ・生産拠点の整備
- ・Fコスト(クレーム)の低減

資材調達改革

(目標：3年以内で20%の購入費削減)

- ・購買CD
- ・海外調達
- ・集中購買
- ・外注再編成

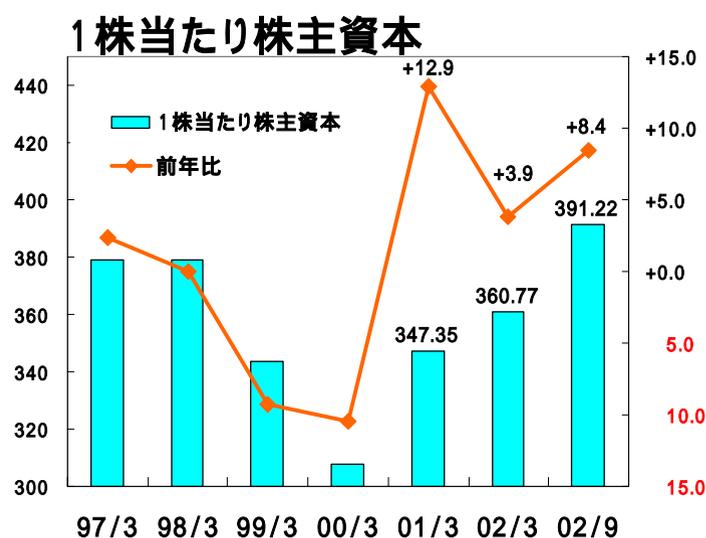
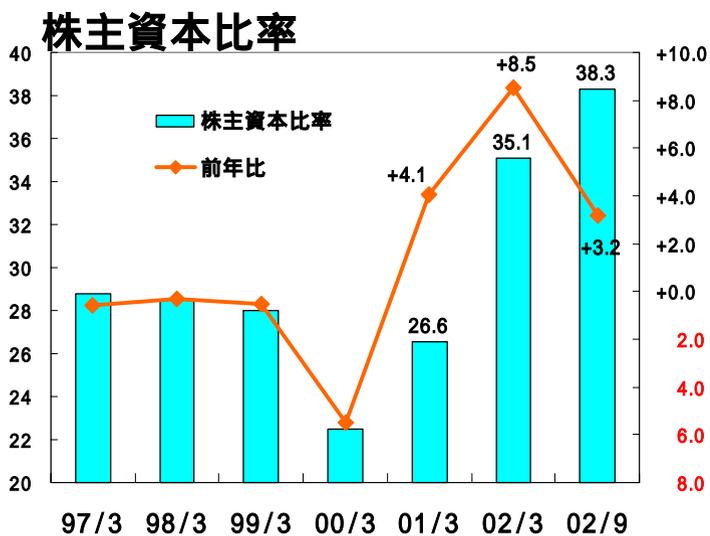
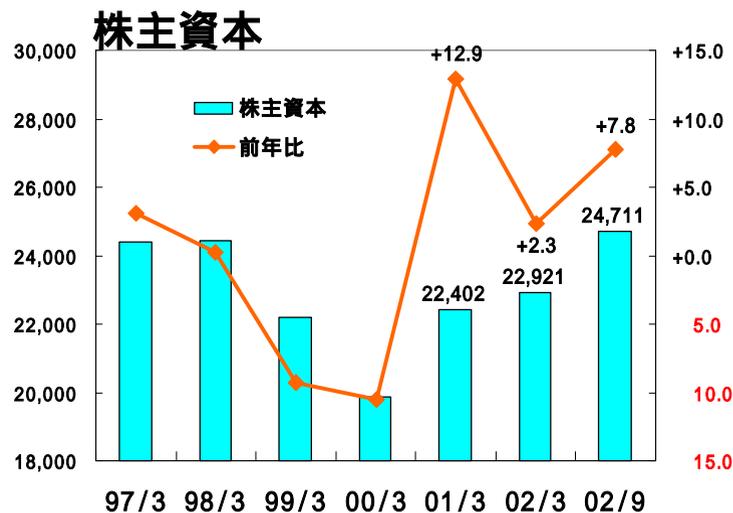
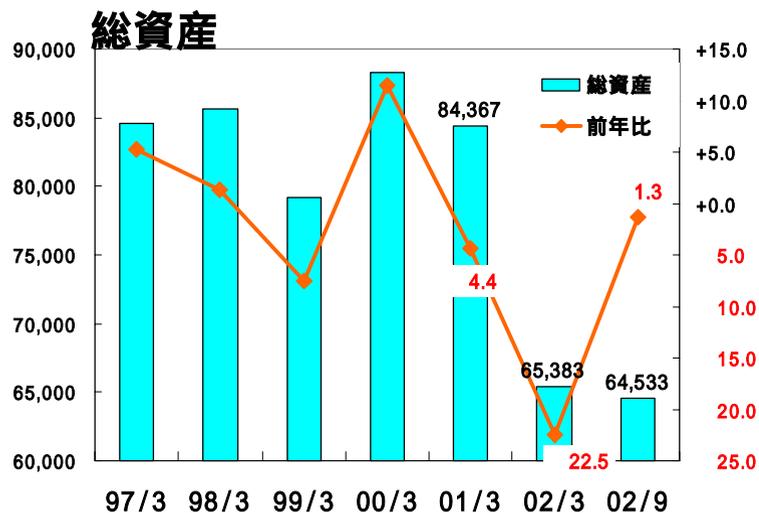
商品開発の強化

新市場の開拓

- ・業界業種ごとの重点市場開拓
- ・新商品での新市場開拓
- ・海外市場への販売開拓

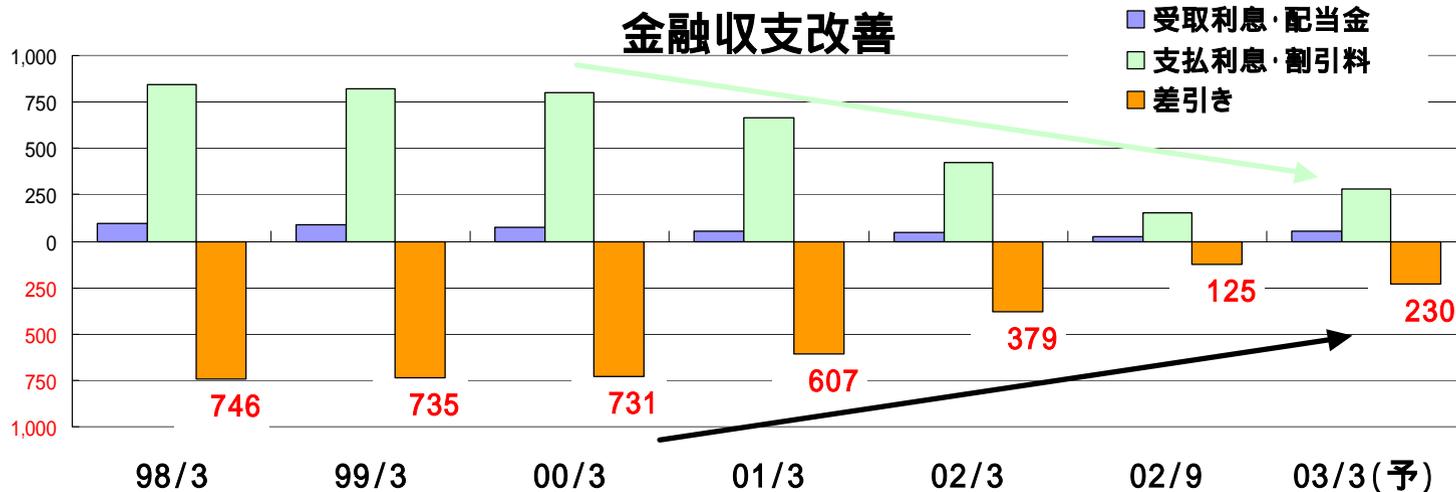
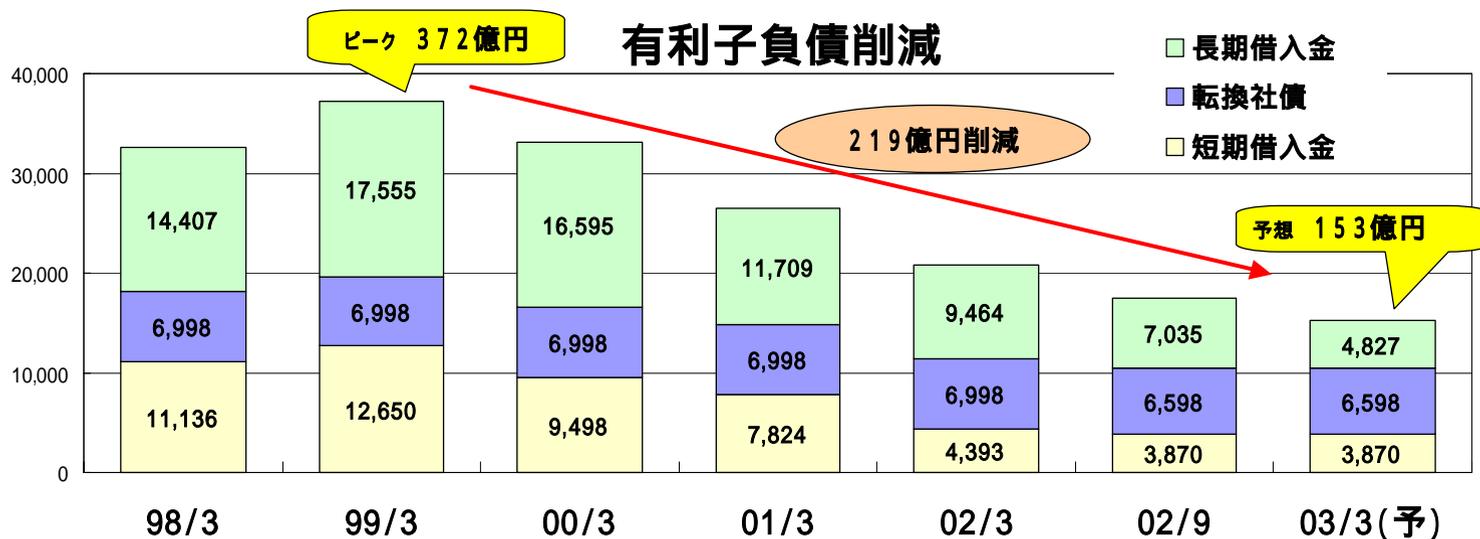
2、収益構造の変革

財務体質の強化



2、収益構造の変革

有利子負債の圧縮

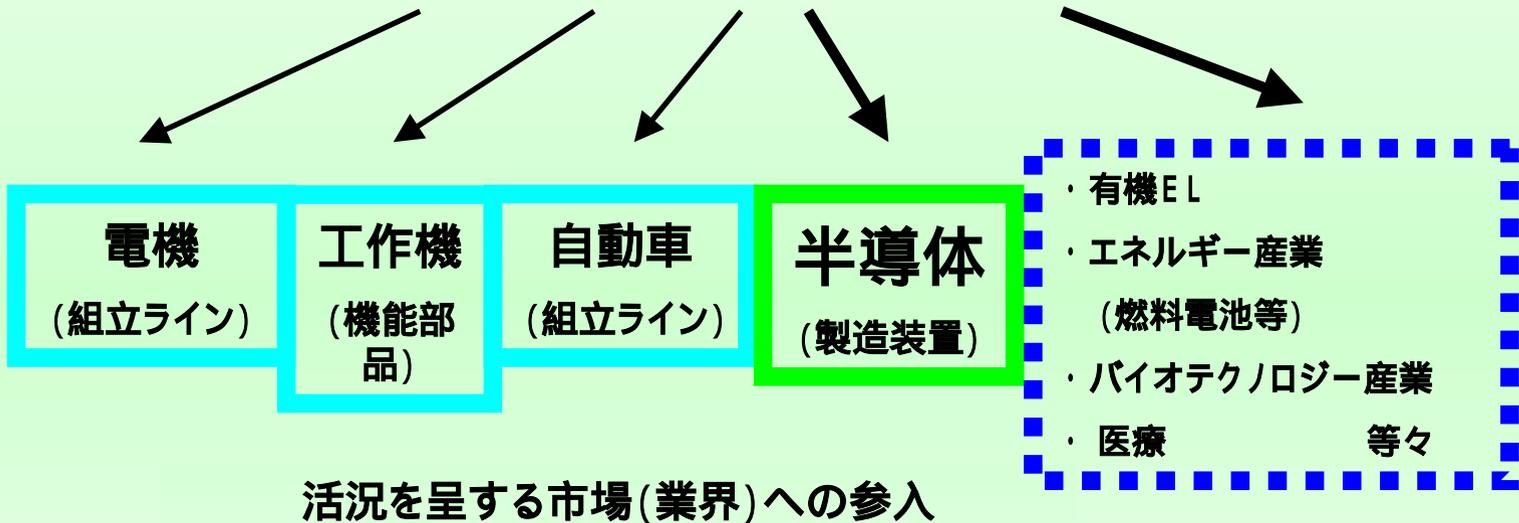


* 02/9は半期

CKDの開発戦略

最も得意とする「**流体制御**」の技術

(あらゆる産業・業界に対応可能な技術)



CKDの技術総合力

- ・機械
- ・電気
- ・電子
- ・空圧制御
- ・流体制御

+

新技術の付加

超精密・超高速・超ファイン化

開発施策の狙い

自動機械

・VIP400(VIP450)

高速3次元はんだ印刷検査機。現行Mサイズ基板だけ Lサイズ基板にも対応へとシリーズを充実。 (330×250) (460×380)

サーバーを始めとした大型電子機器の高密度実装が増加し、大型プリント基板にもCSP等の小型チップが多く採用され3次元検査が不可欠。

・次世代PTP

新しい成型技術の採用により、両端のスクラップをなくした環境対応型薬品包装機。
ノンスクラッププリスター。

省エネ・省資源を目的に全く新しい成形技術を確立し、時代の要請に合った薬品包装機を開発中で、2002年上期に開発し2002年下期から受注活動開始。

・フラッシュパトリ(新型パトリ)

新型PTPに内蔵できる操作性の良い検査装置。
カメラ、照明、画像装置、Windowsといった構成要素を一体化した総合検査装置システム
PPフィルム対応で、エリアタイプのメガピクセルCCDにより鮮明な検査が可能

開発施策の狙い

機 器

・小型電磁弁MN4E0

半導体前工程市場への小型化・高性能化を狙いの電磁弁。

2002年4月15日より発売開始

・小型流量センサ

高い応答性と省スペースを実現する超小型ガス流量センサ。

空気、窒素などの非腐食性ガス、不活性ガス用として吸着確認目的や
リークチェック用途、分析機器への応用としてのセンサ。

・ガス集積弁

収益率改善とシェアアップを狙ったさらなる小型化(1.125インチ)集積モジュールへの対応。

新しい制御方式による次ステップ新製品の開発。

・W4G

「水のかかる工程」でも安心して使用できる耐環境型空気圧バルブ。

バルブ交換作業を容易にしたプラグイン方式を採用。

海外施策の狙い

販売

- ・ **中国 CKD上海の設立 (2001年10月)**
本格的な販売活動を開始、成長市場における自前の販売チャネルの整備。
- ・ **韓国 CKD韓国の設立 (2002年8月)**
半導体と自動車を中心とした市場の開拓と深耕。
- ・ **北米 CKD USAの事業拡大**
半導体を中心にした現地企業の攻略と日系企業へのサービス活動の強化。
- ・ **欧州 主要代理店の育成強化**
主要国での市場開拓と日系企業へのサービス活動体制の整備。

生産

- ・ **タイ 生産拡大**
冷凍式ドライアの現地生産に続き小型チラ - の生産準備。
- ・ **台湾・マレーシア 有効活用**
自動機械やエアシリンダなど特定機種 of 現地生産。

3、セミコン ジャパン 2002のご案内

会 期 : 2002年12月4日(水)～6日(金)

会 場 : 幕張メッセ(国際コンベンションセンター)

出展場所 : 7ホール 小間番号 7-A902

コンセプト : “ひとつ上”に応える
半導体プロセス・ソリューション

主な展示: 薬液制御機器
プロセスガス制御機器
高真空制御機器
空気圧関連機器



ご静聴ありがとうございました

CKD株式会社